

多文化共生

「いろんな文化が響きあう 一人ひとりが笑顔でいられるまち 湖南」をめざし 多文化共生社会の推進に取り組んでいます。

互いの文化・人権を認め 共に生きていくために

湖南省は外国人市民の比率が県内市町で最も高いまちです(令和5年/6・98%)。国別ではブラジル、ベトナム、ペルーの順に多く、30を超える国の外国人市民が地域住民の一員として共に生活しています。市では、令和4年に「湖南省多文化共生推進プラン With KONAN Plan」を策定し、「交流から理解へ」「理解から協働へ」「協働から創造へ」とつながるような多文化共生社会をめざしています。



多言語での窓口対応

外国人市民に制度や手続きなどを正しく説明するため、市役所の窓口に通訳を配置しています。また、自動翻訳機を活用し、さまざまな言語でも対応しています。



「交流から理解へ」 ワールドフェスタこなん

さまざまな国の文化体験と市民の交流を目的として湖南省国際協会が開催する「ワールドフェスタこなん」では、国際色豊かなステージや世界の料理を楽しむことができます。国籍や民族にかかわらず、全ての市民が交流し、理解し合える地域をめざし、取り組んでいます。



ブラジルの伝統武術「カポエイラ」

多文化共生の第一歩

日本語初期指導教室「さくら教室」では、日本語指導が必要な子どもが安心して学習活動に参加し、生活ができるよう、日本語の基礎や日本の文化を教えています。また、湖南省国際協会主催の外国語クラブでは、言語だけでなく、その国の文化や習慣なども楽しく学んでいます。



さくら教室



外国語クラブ



ICTを活用した教育

これまでの教育実践の蓄積にICTの活用を掛け合わせ、学習活動の一層の充実や、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくりに取り組んでいます。



小さな詩人たち(左) 音読集「ことばの宝宝箱」(右)



ことばの教育

子どものことばの豊かさを育むため、音読集「ことばの宝宝箱」の暗唱や群読の他、「湖南省の小さな詩人たち事業」で詩や短歌を作っています。

教育

学校・家庭・地域の協働により 子どもたちを見守る学校教育を推進。「楽しくて力がつく湖南省教育」がテーマです。

楽しくて力がつく教育で 未来を育てる

湖南省の小中学校では、明日を担う子どもを育てるため「楽しくて力がつく湖南省教育」子どもの夢を育て、生きる力の根っこを太くする」をスローガンに学校教育に取り組んでいます。「湖南省教育三方向よし(子どもよし、保護者よし、地域よし)」という、三方ともに満足のいく教育をめざすとともに、「学びの保障」「仲間づくり」「ふるさと意識の醸成」を三本柱に、子どもの自尊心を育てています。

快適な学習環境をつくる

子どもの成長を伸ばすためにも欠かせないのが教育環境の充実です。整備が必要な教育施設の計画的な改修や情報通信技術を活用した設備の導入など、学習効果を高める環境の整備を推進しています。



新校舎建築



トイレ洋式化



空調機整備

